NURSINGRAPHICUS

看護の統合と実践

目標Ⅰ 看護におけるマネジメントの基本について理解を問う。

大項目	中項目（出題範囲）	出題数※	小項目（キーワード）	出題数※	ナーシング・グラフィカ 単行本『家族看護学』該当箇所
1 看護におけるマネジメント	A 看護におけるマネジメントの目的と方法	6	看護マネジメントの目的とプロセス	2	看護管理　3章1節 看護マネジメントとは（p.76-82）
			看護組織の構成と職務	3	看護管理　4章1節 組織とその構造・機能（p.98-106） 看護学概論　13章2節 専門職としての看護組織（p.322-325）
			看護行政の動向と看護マネジメント	1	看護管理　10章3節 保健医療福祉政策と最近の動向（p.299-314）
	B 医療・看護における質の保証と評価、改善の仕組み	4	医療・看護の質保証と評価	2	看護管理　5章3節 医療・看護の質改善（p.184-196）
			医療・看護の標準化（標準看護計画、クリニカルパス）	2	看護管理　3章3節2項 効率性を高める方法（p.92-94） 看護学概論　12章1節3項 質の高い看護ケアを行うために（p.286）
	C 看護業務のマネジメント	8	看護業務基準、看護手順	1	看護管理　3章2節2項 看護マネジメントシステム（p.84-90）／5章1節3項 道徳的行動モデルと組織ダイナミズムからの影響（p.166-167）／9章1節3項 plus α「看護業務基準」（p.258） 看護学概論　1章4節2項 看護業務基準（p.36-37）／12章1節2項 看護のマネジメント（p.280）
			看護提供システム	3	看護管理　4章2節1項 分業（p.108-112） 看護学概論　12章1節2項 看護のマネジメント（p.280-284）
			複数の看護業務が同時に発生した場合の判断や対処方法	2	看護管理　7章3節 多重課題における対処（p.224-228）
	D 看護業務に関する情報に係る技術と取扱い	6	医療・看護業務に関する情報の活用と保管	5	看護管理　4章6節 情報の管理（p.144-149）
			診療記録等の電子化と医療情報システム	1	看護管理　4章6節3項 看護ケアに必要な患者の医療情報（p.146-148） 看護学概論　12章1節2項 看護のマネジメント（p.279-280）
	E 医療安全を維持する仕組みと対策	15	安全管理体制整備、医療安全文化の醸成	9	医療安全　2章1節 国の医療安全への取り組み（p.38-41），4節 医療安全管理者：医療安全の中心的役割（p.60-64），5節 医療事故への対応（p.65-68），6節 医療事故の被害者（患者）・家族の思いに寄り添ったケア（p.69-72），7節 医療事故の報告制度（p.75-77）／3章3節3項 リスクマネジメント（p.117-121）／4章 チームで取り組む安全文化の醸成（p.123-137）／8章2節 実習中の事故予防および事故発生時の学生の対応（p.244-253） 看護管理　5章2節1項 医療を取り巻く環境の変化と医療安全（p.168-169）
			医療事故・インシデントレポートの分析と活用	5	医療安全　2章7節 医療事故の報告制度（p.75-79）／3章2節 事故分析（p.97-108），3節 事故対策（p.109-121）／8章3節 医療安全をどう学ぶのか（p.253-256） 看護管理　5章2節 医療安全（p.168-183）
	F 看護師の働き方のマネジメント	6	看護師等の労働安全衛生	3	看護管理　4章4節4項 労働環境管理（p.136-139）
			看護の交代勤務	1	看護管理　4章2節1項 分業（p.107-112），4節3項 ワーク・ライフ・バランス（p.133-135）／7章4節1項 夜勤業務の特徴（p.228-230）

大項目	中項目（出題範囲）	出題数※	小項目（キーワード）	出題数※	ナーシング・グラフィカ 単行本『家族看護学』該当箇所
1 看護におけるマネジメント	F 看護師の働き方のマネジメント	6	ワーク・ライフ・バランスを促進する働き方	2	看護管理　4章4節3項 ワーク・ライフ・バランス（p.130-135） 看護学概論　1章6節2項 看護における人材の確保（p.60-64）／12章2節6項 看護職の労働安全衛生（p.294）

目標Ⅱ　災害看護の基本的な知識を問う。

大項目	中項目（出題範囲）	出題数※	小項目（キーワード）	出題数※	ナーシング・グラフィカ 単行本『家族看護学』該当箇所
2 災害と看護	A 災害時の医療を支えるしくみ	7	災害に関する法と制度	1	災害看護　3章 災害に関する法制度（p.47-72） 看護学概論　12章3節8項 災害看護に関わる主な法と制度（p.303-305）
			災害時の医療体制	6	災害看護　4章 災害時の支援体制（p.73-94） 在宅療養を支える技術　6章2節 在宅医療におけるリスクの特徴（p.243-244）
	B 災害各期の特徴と看護	25	災害各期の特徴	3	災害看護　5章1節 災害サイクル（p.96-103）
			災害時の被災者・支援者の身体反応と心理過程	3	災害看護　7章 被災者と支援者の心理の理解と援助（p.165-184） 小児の発達と看護　3章9節 災害を受けた子どもと家族への看護（p.310-311） 精神障害と看護の実践　7章7節2項 災害によるストレスの影響（p.286）
			災害時に生じやすい健康被害の特徴	7	災害看護　2章 災害の種類と健康被害（p.29-46） 小児の発達と看護　3章9節2項 災害を受けた子どもの心と身体への影響（p.311-313） 小児の疾患と看護　16章2節8項 心的外傷後ストレス障害（PTSD）（p.392-393）
			災害各期における要支援者を含むすべての被災者への看護	11	災害看護　6章2節 医療救護所での看護活動（p.135-138），3節 避難所での看護活動（p.138-146），4節 応急仮設住宅での看護活動（p.146-151），5節 自宅避難者に対する看護活動（p.152-155），6節 復興期の看護活動（p.156-158）

目標Ⅲ　諸外国における保健・医療・福祉の動向と課題について基本的な理解を問う。

大項目	中項目（出題範囲）	出題数※	小項目（キーワード）	出題数※	ナーシング・グラフィカ 単行本『家族看護学』該当箇所
3 国際化と看護	A グローバル化に伴う世界の健康目標と課題	12	世界共通の健康目標	7	国際化と看護　1章2節 国際看護の変遷（p.24-26）／2章2節 世界の保健医療を支える機関と重要な概念（p.51-61） 看護管理　1章3節 SDGs：これからの社会と看護の役割・責任（p.31-34）／10章4節 看護の関連機関と団体（p.314-317）
			人間の安全保障	0	国際化と看護　2章1節 地球規模課題としての社会的健康格差（p.44-50），2節 世界の保健医療を支える機関と重要な概念（p.51-61） 看護管理　1章3節 SDGs：これからの社会と看護の役割・責任（p.31-33）
			プライマリ・ヘルス・ケア	1	国際化と看護　2章2節2項 保健医療に関する重要な宣言や概念（p.58） 看護学概論　12章4節5項 国際機関の動き（p.312） 看護管理　1章3節 SDGs：これからの社会と看護の役割・責任（p.31-33）

※第105～114回までの出題問題数

大項目	中項目（出題範囲）	出題数※	小項目（キーワード）	出題数※	ナーシング・グラフィカ 単行本『家族看護学』該当箇所
3 国際化と看護	B グローバルな社会における看護	17	看護の対象となる人々（在留外国人、在外日本人、帰国日本人、国際協力活動を必要とする人々）の健康課題	11	国際化と看護　3章 海外における看護（p.79-115）／4章1節 日本の医療機関における外国人診療（p.118-122），2節 外国人を診る日本の医療機関（p.123-127）／5章 病院における外国人への看護（p.137-170）／6章 地域における在留外国人への支援（p.171-206）／7章1節 国内における在留外国人への支援の課題：医療通訳制度確立に向けた取り組み（p.208-217）／8章 渡航における感染対策と健康支援（p.225-247） 看護管理　1章1節4項 看護の対象の多様化と看護活動（p.19-20） 災害看護　10章1節1項 グローバリゼーションと災害看護（p.264-265）
			多様な文化を考慮した看護	5	国際化と看護　1章2節3項 イーミックとエティック，文化ケア（p.25-26），囲み「看護実践に役立つアセスメントツール」（p.27-30），3節3項 グローバル化する日本の医療の中で知っておくべきこと（p.36）／3章 海外における看護（p.79-115）／5章 病院における外国人への看護（p.137-170）／6章 地域における在留外国人への支援（p.171-206） 看護管理　1章1節4項 看護の対象の多様化と看護活動（p.19-20） 災害看護　10章1節2項 異文化への配慮（p.266-267）

目標Ⅳ　複合的な事象において看護の知識を統合し活用できる判断能力を問う。

大項目	中項目（出題範囲）	出題数※	小項目（キーワード）	出題数※	ナーシング・グラフィカ 単行本『家族看護学』該当箇所
4 臨床実践場面における統合的な判断や対応	A 対象や家族に切れ目のない支援を提供するための継続した看護	0	※A～Eのテーマをもとに、専門分野の各科目で学んだ内容を統合し、臨床実践場面における状況設定問題として出題する。		高齢者看護の実践　15章6節 退院（p.332-336） 概論・リプロダクティブヘルスと看護　6章9節 性分化疾患（DSD）（p.161-163）／10章2節2項 不妊治療後に妊娠した妊婦の心理と支援（p.240-242） 母性看護の実践　11章7節4項 精神疾患（p.116），1節3項 周産期医療システムにおける医療体制（p.362-363） 災害看護　8章 配慮を必要とする人への看護（p.185-238）
	B 複合的な状況にある対象や、複合的に提供されている看護の状況を判断し、危険を回避する取組み	2			概論・リプロダクティブヘルスと看護　2章2節4項 性別不合（p.37-39）／4章5節1項 ドメスティックバイオレンスに関する法律と支援（p.98-99），2項 児童虐待の防止に関する法律と支援（p.100-101），3項 性暴力に関する法律と支援（p.102-103）／10章1節4項 社会的ハイリスク・特定妊婦と生まれた子へのケア（p.236-239），3節3項 外国人女性が抱える問題（p.244-245） 母性看護の実践　3章 妊娠期の異常（p.93-129）／5章 分娩期の異常（p.173-212）／8章 産褥期の異常（p.283-295）／10章 新生児期の異常（p.323-358） 災害看護　9章 防災・減災マネジメント（p.239-262）
	C 看護の提供者が、看護場面において自身の安全を確保するための総合的な判断や対応	0			基礎看護技術Ⅱ　3章3節 医療従事者の安全（p.97-111） 医療安全　7章 医療従事者の安全を脅かすリスクと対策（p.215-240） 災害看護　5章6節 感染症対策（p.120-125）／7章3節 支援者の心理の理解と援助（p.176-183）
	D 発災からの経過に応じて被災者に提供される診療や支援を促進するための看護	1			母性看護の実践　11章2節 災害時の母子への支援（p.366-369） 災害看護　6章 災害初期から中長期における看護活動（p.129-164） 基礎看護技術Ⅱ　15章2節 救急時における看護者の役割（p.453-454）
	E A～Dを促進するための多職種連携	1			概論・リプロダクティブヘルスと看護　6章9節 性分化疾患（DSD）（p.161-162）／8章5節 不妊カップルへの社会的支援（p.214-216）／10章1節1項 用語解説「要保護児童対策地域協議会（要対協）」（p.234） 災害看護　4章3節 災害時における連携と協働（p.90-93）